



消防団 特別点検

6/27日

7:15~
久慈中学校校庭
ほか

6月27日(日)に消防団特別点検を行います。分列行進(10時20分~11時予定)では、市街地で交通規制を行いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

消防防災課 ☎52-2173



平庭高原 まつり

6/12+13日
10:00~16:00 平庭高原

6月12日(土)と13日(日)、平庭高原つつじまつりを開催。ジンギスカンなどの食と盛りだくさんの催しをお楽しみください。

産業建設課 ☎72-2129

平庭闘牛大会 つつじ場所を中止

宮崎県で発生している口蹄疫の感染拡大が懸念されるため、開催を自粛します。ご理解をお願いいたします。

子ども手当現況届は6月中

子育て支援課☎52-2169 山形福祉室☎52-2169

子ども手当の受給者は、毎年6月中に現況届の提出が必要で、届け出をしないと6月以降の子ども手当が受給できなくなります。対象者にはハガキをお送りしますので、忘れずに届け出をしてください。現況届の受付日時と会場は下表のとおりです。地区ごとに割り当てた受付日時に都合のつかない方は、6月30日(木)までに、子育て支援課または山形福祉室の窓口へ届け出てください。

届出をする際は、次のものを忘れずにお持ちください。届出に必要なもの
①ハガキ(受け付けに必要です)ので必ず持参ください

届出は毎年必要

②印鑑
③健康保険被保険者証(受給者本人と対象の子どものもの)または年金加入証明書

<現況届の受付日時・会場>

受付日時	対象地区	受付会場
6月17日(木) 9時~16時	小久慈、大川目	市役所1階 市民ホール
6月18日(金) 9時~16時	宇部、侍浜、山根	
6月21日(月) 9時~16時	長内、夏井	
6月22日(火) 9時~16時	久慈	山形総合支所
6月23日(水) 9時~16時	山形	

ふるさと納税の寄附状況

政策推進課☎52-2115

寄附でまち応援

「ふるさと納税(寄附)制度」は、寄附を通じて、ふるさとへの久慈や好きなまちを応援できる制度です。寄附金額から5千円を除いた額は、一定の割合で所得税と個人住民税の控除が受けられます。市外にお住まいのご家族などへの呼び掛けについて、ご協力をお願いします。

昨年度は34万円

平成21年度の寄附状況は次のとおりです。寄附金は、寄附者からの使途希望に応じて各事業の財源に充当させていただきます。ご厚志ありがとうございました。ご厚志ありがとうございました。

▼寄附件数: 8件
▼寄附金額: 34万7千円

<寄附金を充当した事業>

使途希望	充当事業	充当額	総事業費
人材育成の推進	スポーツ少年団育成事業	6万7,500円	230万円
福祉の充実	ふれあいサロン事業	1万2,000円	90万円
環境の保全	環境保全対策事業	4万円	243万円
地域活動の支援	市民協働道路維持補修事業	1万7,500円	500万円
久慈市に委任	防災行政無線整備事業	21万円	3,501万円

※総事業費は1万円未満を四捨五入した金額

▼寄附をいただいた方(敬称略): 広崎俊明(埼玉県)、奥本満(神奈川県)、奥本和江(神奈川県)ほか匿名希望5人

岩手国体軟式野球競技

全日本軟式野球連盟が会場視察

久慈市周辺8市町村が、平成28年に開催予定の岩手国体軟式野球競技の会場地に内定したことを受け、5月11日、視察員が各会場の正規視察を行いました。

11日、市役所で開かれた概要説明会には、県と8市町村、県野球協会から約30人が出席。視察員の全日本軟式野球連盟の渡邊起祐専務理事と吉岡大輔事務局員を前に、県国体推進課の西村豊総括課長が「夢と希望を与えられる岩手国体にしたいと考えています。会場をご覧いただき、ご指導ご助言をお願いします」と、あいさつしました。

視察員は、各市町村から会場や交通、宿泊規模などの説明を受けた後、はじめに市営野球場を視察。グラウンドだけでなく、フェンスや本部席などの設備も細かく確認して

回りました。

渡邊専務理事は「今回の視察で皆さんの熱意を十分に感じました。施設の改善などを進めれば、良い大会になることは間違いないと思います」と評価していました。

3日間で全会場の視察は終了。13日に軽米町で行われた講評では、視察員から施設改修のポイントなど、大会開催に向けた助言を受けました。



市営野球場の設備を確認して回る視察員など

保健推進委員・交通指導員

委員を委嘱 新体制が始動

4月28日、元気の泉で市保健推進委員に委嘱状を交付。長年活動し、退任された方には感謝状を贈りました。

新委員を前に山内隆文市長は「皆さんは行政と住民をつなぐパイプ役です。市民の健康増進のため取り組んでほしいと思います」と期待を込めました。

交付式終了後に開かれた同委員連絡協議会総会では、西美代子会長が「住民の皆さんが生き生きと生活していきましよう」と呼び掛けました。委員は182人で任期は2年間。本年度は、特定健診の受診率向上とウォーキングの普及活動に力を入れます。



山内市長から委嘱状を受ける保健推進委員

交通指導員への委嘱状交付式は5月10日、市役所で行われました。

代表で交通指導員の熊谷好行隊長に委嘱状を交付した後、山内隆文市長は「市民の生命を守り、交通マナーの向上に向けて、今後皆さんの活躍を期待します」と訓示を述べました。

熊谷隊長は「高齢者の事故が増えています。老人クラブに声掛けするなどし、特に高齢者の事故防止と飲酒運転の撲滅に力を入れたいと思います」と力強く語りました。

指導員は23人で、任期は2年間。交通安全教室や啓発活動などを行い、事故のないまちの実現に力を尽くします。



代表で委嘱状を受ける熊谷隊長